

認知症の進行に合わせた支援とサービスの流れ(認知症ケアパス)

正常 ～ MCI ～ 認知症の疑い		認知症（徐々に進行している状態）			
認知症の進行	MCI（軽度認知障害） 認知症になりかけている状態	認知症状がみられるが、日常生活は自立	誰かの見守りがあれば、日常生活は自立	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	・物の忘れが多いが自立して生活できる。 ・人に会ったり、出掛けたりすることが面倒になる。 ・周囲の人は気が付きにくく、自分で「何かおかしい」と感じることもある。	・新しいことがなかなか覚えられない。 ・買い物や金銭管理にミスがみられる。 ・料理の準備や手順を考えるなど、状況判断を要する行為が難しくなる。	・服薬の管理ができない。 ・電話の応答や訪問者の対応などが難しい。 ・たびたび道に迷う。 ・財布などを盗られたと言い出す。	・日時・場所・季節が分からなくなる。 ・表情が乏しくなる。 ・着替えや食事、トイレがうまくできない。	・言葉によるコミュニケーションが難しくなる。 ・飲み込みが悪く、食事に介助が必要となる。 ・食べ物ではない物を口に入れる。
介護サービス		・訪問系介護（ホームヘルプなど） ・通所系介護（デイサービスなど）		・短期入所生活介護（ショートステイ）	
住まい			・グループホーム など ※介護保険サービス		
市の事業	・健康おうえん手帳 ・認知症初期集中支援推進事業 ・認知症サポーター養成講座 ・認知症カフェ		・緊急通報体制等整備事業 ・あんしんハローライトプラン事業 ・配食サービス事業 ・軽度生活援助事業		・認知症行方不明者SOSネットワーク ・見守りシール交付事業「どこシル伝言板」
権利を守る	・日常生活自立支援事業 ・法律的な支援 「成年後見制度」				

健康おうえん手帳

この手帳では、毎日の暮らしの中で取り組める介護予防やフレイル対策について、わかりやすく紹介しています。



▲詳細はこちら
(市ホームページ)

認知症初期集中支援推進事業 ～ 認知症初期集中支援チーム ～

「認知症初期集中支援チーム」は認知症専門医と、医療・福祉・介護の専門職で構成されています。認知症の方やその疑いのある方、ご家族にチーム員が訪問し、病院受診や介護サービスの利用等について支援します。



▲詳細はこちら
(市ホームページ)

【対象者】

40歳以上で自宅にて生活しており、認知症の症状などでお困りの方、医療・介護サービスを受けていない、または中断している方など。

認知症サポーター養成講座

認知症の人や家族を温かく見守り適切にサポートできる「認知症サポーター」を養成する講座です。講座では認知症の正しい理解や、認知症の方への接し方などについて学びます。大仙市にお住まいの方、職場が大仙市である方を中心とした集まりで、5人以上が集まれば開催可能です。



▲詳細はこちら
(市ホームページ)

認知症カフェ

認知症の方やその家族、地域の方、専門職など、誰もが気軽に参加できる「つどいの場」です。認知症について学んだり、情報交換や相談をしながら、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



▲詳細はページ内の「認知症カフェ」をご覧ください。

認知症行方不明者SOSネットワーク

行方不明の恐れのある認知症高齢者等（若年性認知症を含む）の本人情報を事前に登録。行方不明になった場合、警察や地域の関係機関と連携して、早期に発見・保護し、命と暮らしを守り支援していく仕組みです。



▲詳細はこちら
(市ホームページ)

見守りシール交付事業「どこシル伝言板」

衣類等に貼ったQRコードが読み取られると、ご家族等へ「発見通知メール」が届きます。発見された方とご家族等は、チャット形式の伝言板で情報交換ができ、お迎えまでのやりとりを迅速に行うことができます。



▲どこシル伝言板ラベルシール見本



▲詳細はこちら
(市ホームページ)

*介護サービスに関する詳細については
高齢者包括支援センターやケアマネジャーにご相談ください。

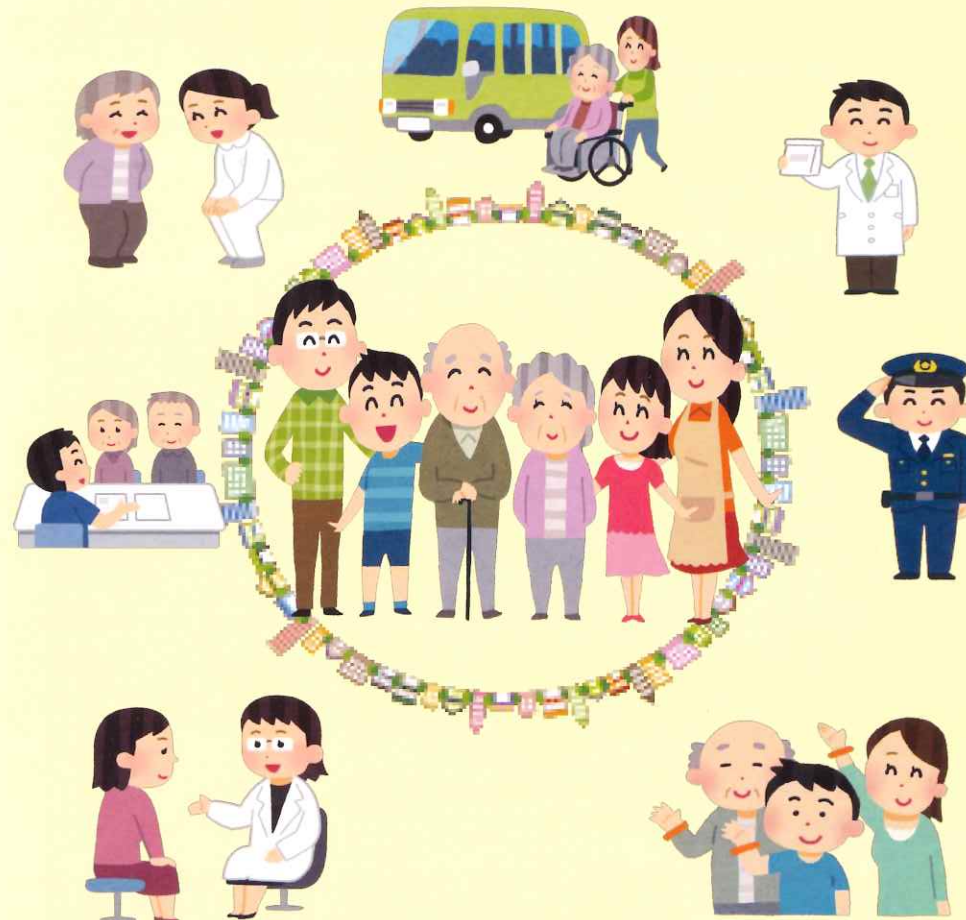


【問い合わせ先】

高齢者包括支援センター 0187-63-1111(代表)
西部 0187-87-3970 南部 0187-88-8030
東部 0187-56-7125

*令和8年7月現在の情報で作成しています。

大仙市
もの忘れ相談ブック
～もの忘れ？認知症？気になることはありませんか？～
【概要版】



認知症とは…

脳の障がいなどのさまざまな原因によって、生活に支障が出る程度にまで認知機能が低下した状態を指します。

認知症は早期発見・早期対応が大切です。早めに気づいて適切な対応をすることで、進行をゆるやかにできる場合があります。

もの忘れや気になることがあるときの相談先などを紹介しています。

最近、アレ？と思うことが多い方へ

～家族がつくった「認知症」早期発見のめやす～

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみるとよいでしょう。

◆もの忘れがひどい

- ☐ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

◆判断・理解力が衰える

- ☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 新しいことが覚えられない
- ☐ 話のつじつまが合わない
- ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった

◆場所・時間がわからない

- ☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 慣れた道でも迷うことがある

◆人柄が変わる

- ☐ 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

◆不安感が強い

- ☐ ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 「頭が変になった」と本人が訴える

◆意欲がなくなる

- ☐ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 趣味や好きなテレビに興味を示さなくなった
- ☐ ふさぎこんで何をするのも億劫がりいやがる

出典：公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症予防は日々の生活から

～いつまでも元気でいきいきと暮らすために、
日頃から認知症予防に取り組みましょう～

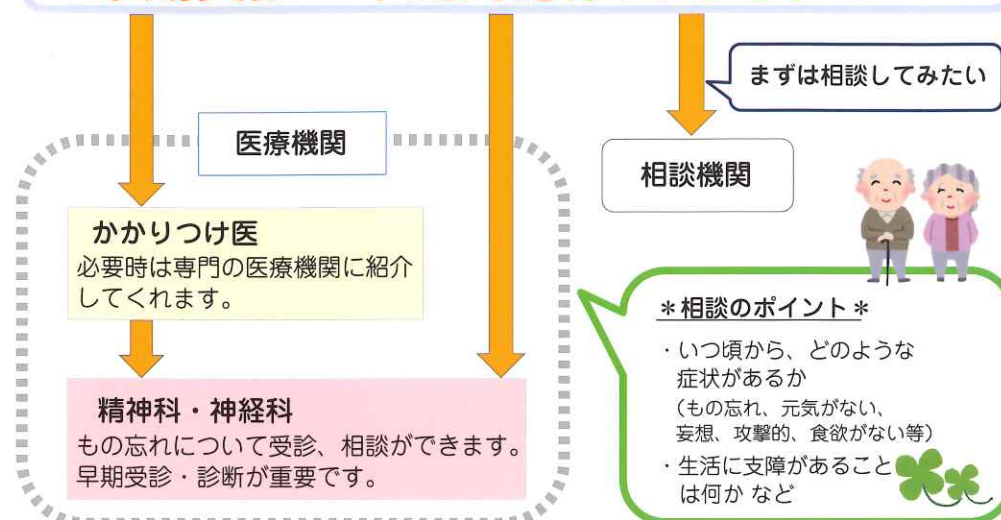
【ポイント】

- ①生活習慣病を予防しましょう。
- ②適度な運動を心がけましょう。
- ③栄養バランスの良い食事を心がけましょう。
- ④口腔ケアでお口の老化を予防しましょう。
- ⑤日常生活を活動的に過ごしましょう。



もしかして認知症？と心配になったら…

早期受診・早期対応が大切です！



医療機関

精神科・神経科	精神科外来などでは、物忘れについての受診、相談ができます。受診には事前の予約が必要です。	
名 称	住 所	電話番号
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター (秋田県認知症疾患医療センター)	協和上淀川字五百刈田352	018-892-3751
市立大曲病院	飯田字堰東210	0187-63-9100
協和病院	協和上淀川字五百刈田277-1	018-892-2881
ケイメンタルクリニック	大曲通町10-8	0187-66-3020
サンメンタルクリニック	協和上淀川字中嶋33	018-838-4862
なごみメンタルクリニック	大曲船場町1丁目1-45	0187-73-7721

認知症サポート医

認知症の方を地域で支援する体制の中心的存在として、関係機関と連携を図り、認知症医療に関する助言を行います。

木村内科医院	大曲中通町3-3	0187-63-2070
生和堂医院	刈和野字清光院後15-2	0187-75-0318
大曲中通病院	大曲上栄町6-4	0187-63-2131
ささき脳神経外科・内科クリニック	大曲日の出町2-7-4	0187-63-1010
羽後長野駅前内科	長野字柳田59	0187-42-8255
大曲リハビリテーションクリニック	大曲住吉町1-17	0187-73-7900
荒井医院	大曲上大町6-22	0187-63-2670
豊島医院	協和境字野田86	018-892-2211

秋田県医師会認知症等診療ネットワーク協力医

認知症の予防や早期発見、治療等を通じて、認知症に関心をもち、体制づくりに参画します。

後藤内科医院	高梨字田茂木87	0187-62-1113
--------	----------	--------------

早期発見・早期対応が必要な理由

- ◆発症の原因によっては、早い段階で治療を開始すれば治る病気の場合もあります（脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など。）
- ◆認知症の進行を遅らせることができる場合があります。アルツハイマー病早期の段階に有効な新薬が出ています。
- ◆どのタイプの認知症かによって治療方針や対応が違います。
- ◆精神症状には原因や状況に応じた療法もあります。
- ◆家族などが早期から適切に対応することで、穏やかな生活が継続され、介護負担の軽減につながる場合があります。

認知症の方との接し方

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

○同じことを何度も言う、聞く

本人の言うことを否定せず、できる限り何度でも答える。さりげなく日時や出来事を伝え、わからなくなっていることを補う声かけをしましょう。

○いつも探しものをしている

一緒に探し、見つからない時は「後で探しましょう」と声をかけて安心してもらおう。探しものを家族が見つけても、後から自分で見つけられるよう誘導しましょう。

○薬を飲み忘れる

服用の声かけをする。薬をうまく飲めない理由は人それぞれですので、その人なりの工夫が必要です。パッケージから出せない方には、薬を出してお水と一緒に渡してみましょう。

相談機関

高齢者包括支援センター		
名 称	担 当 地 域	電話番号
高齢者包括支援センター（大曲庁舎内）	※大曲地区/ 花館地区/四ツ屋地区	0187-63-1111(代)
高齢者包括支援センター南部（大仙市社会福祉協議会 本所内）	※大曲地区/ 内小友地区/大川西根地区/ 藤木地区/角間川地区	0187-88-8030
高齢者包括支援センター東部（中仙庁舎内）	中仙地域/仙北地域/ 太田地域	0187-56-7125
高齢者包括支援センター西部（西仙北庁舎内）	神岡地域/西仙北地域/ 協和地域/南外地域	0187-87-3970

※大曲地区は、お住まいの地区により担当が異なります。

ものわすれ電話相談（市立大曲病院）

もの忘れが気になっている方やその家族などが気軽に相談できる電話相談窓口です。
受付時間 平日 午前9時～午後5時まで
電話番号 0187-63-9100 ※ものわすれ電話相談であるとお話してください。

認知症なんでも相談所

グループホームなどの地域密着型サービス事業所に開設されています。認知症について困っていること、家族や地域で心配な人がいた時など、お近くの相談所をご利用ください。

*詳しくはお近くの相談機関にお問い合わせください。